

2023年2月13日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第4回「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会幹事会
会議種別	本会議 <input checked="" type="checkbox"/> 幹事会 <input type="checkbox"/> メール審議 <input type="checkbox"/> その他*() <small>*分科会、WG等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2023年2月9日(木) 13:30~17:00
開催場所	Web会議(Zoom)、
参加人数	7名 佐々木主査、若杉幹事 原子力発電環境整備機構:古崎 事務局:立川、朽山、石川、花淵
議事	<p>語彙基盤の記載内容および報告書の取りまとめ等について検討を行った。</p> <ol style="list-style-type: none">語彙基盤の記載内容の確認 委員からの意見を反映した「語彙基盤」作成の背景、及び4件の語彙基盤(閉じ込めと隔離、地質環境、安全評価、セーフティケース)について確認を行い、一部修正を行うことを条件に、語彙基盤が了承された。第3回特別専門委員会の議事録案 事務局より第3回特別専門委員会の議事録案について報告を行い、後日、委員に内容の確認を求めることとした。報告書の取りまとめ 報告書の取りまとめについて、事務局から報告書の目次と記載事項の説明があった。幹事会は、報告書の取りまとめ方について了承した。 また、報告書のしめくりとなる今後の検討については、主査と幹事で文案を作成することとした。 報告書案は、今後、メール審議を行うことを確認した。今後のスケジュール 事務局から、報告書取りまとめに向けたスケジュールの説明があった。その他 次年度の進め方について議論を行い、「語彙基盤」の実践、コミュニケーションツールとしての「語彙基盤」の在り方、最終年度の取りまとめ、成果の公表などの課題を確認した。
備考	

2023年1月31日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第3回「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*() <small>*分科会, WG等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2023年1月24日(火) 13:30~16:45
開催場所	ハイブリッド開催: Web 会議 (Zoom)、(公財)原子力安全研究協会 新橋パークサイドビル4階大会議室
参加人数	22名 佐々木主査, 若杉幹事, 小林委員, 小山委員, 寿楽委員, 田中委員, 半井委員, 廣野委員, 松島委員, 安江委員 原子力発電環境整備機構: 高橋, 古崎 オブザーバー: 中山(日本原子力研究開発機構), 島田, 松岡(バックエンド部会), 事務局: 立川, 朽山, 石川, 花淵
議事	<ol style="list-style-type: none">1. 前回議事録(案)の確認 今月末まで確認し、委員からのコメントを踏まえ、改訂し、改訂版は、メールによる確認を行うこととした。2. ワーキンググループの検討状況 「語彙基盤」改良ワーキンググループ及び「語彙基盤」拡張ワーキンググループにおける検討状況の報告があった。両ワーキンググループの議論に基づき改訂した、「語彙基盤」作成の目的、語彙基盤(閉じ込めと隔離、地質環境、安全評価、セーフティケース)の最終案の議論を行った。最終案に対するコメントは、当月末まで受け付け、主査・幹事による最終確認をもって最終案とすることとした。3. 次年度における検討の進め方 次年度実施する「語彙基盤」の実践の場における試行の方策について、第2回特別専門委員会から引き続き、委員からの提案の検討を行い、本特別専門委員会の活動として、次年度実施する内容について絞り込みを行った。 さらに、次年度に新たに扱う語彙や、本年度新たに作成した語彙基盤(安全評価、セーフティケース)の改良、進め方等について、当月末まで委員から提案を受け付けることとした。4. 報告書の取りまとめ 報告書の目次案が提示され了承された。5. 今後のスケジュール 今後のスケジュールについて事務局より説明があった。詳細は、報告書の起草

	状況を踏まえ案内することとし、報告書の内容は、メール審議とすることが確認された。
備 考	

2023年1月31日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第3回「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会幹事会
会議種別	本会議 <input checked="" type="checkbox"/> 幹事会 <input type="checkbox"/> メール審議 <input type="checkbox"/> その他*() <small>*分科会、WG等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2023年1月18日(水) 16:30~18:00
開催場所	Web会議(Zoom)、
参加人数	8名 佐々木主査、若杉幹事 原子力発電環境整備機構:古崎、高橋 事務局:立川、朽山、石川、花淵
議事	<p>第3回特別専門委員会の開催および報告書の取りまとめに向けて、事前調整を行った。</p> <p>1. 第3回特別専門委員会の進め方 第3回特別専門委員会の進め方として、3件の議題(ワーキンググループでの検討状況、次年度における検討の進め方、報告書の取りまとめ方針)を採り上げることを確認した。また、「語彙基盤」の実践の場における試行の方策検討についても、委員からの提案について議論することとした。</p> <p>2. ワーキンググループ(WG)の検討状況 第3回特別専門委員会で採り上げるWGの検討状況の内容として、以下とすることとした。</p> <ul style="list-style-type: none">● 「語彙基盤」改良WGの検討状況:議論を踏まえた閉じ込めと隔離、地質環境の語彙基盤の改訂版を提示し、特別専門委員会で意見を求める。● 「語彙基盤」拡張WGの検討状況:「語彙基盤」作成の背景、「語彙基盤」(安全評価、セーフティケース)を、WGメンバーの修正・加筆に基づき改訂案を提示し意見を求めることを目指すが、作業が間に合わない場合には、WGで検討対象とした草案、およびWGで取りまとめた留意する点を提示し意見を求めることとした。 <p>3. 報告書のとりまとめ方針 報告書の取りまとめに際しては、メール審議を行うことを確認し、併せて幹事会も開催することとした。詳細なスケジュールは今後調整することとした。</p>
備考	

2023年1月31日

専門委員会開催報告

専門委員会名	「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他 * (第2回「語彙基盤」拡張ワーキンググループ) <small>*分科会、WG等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2023年1月18日(水) 13:30~16:30
開催場所	オンライン開催: Web会議(Zoom)
参加人数	12名 佐々木主査、若杉幹事、小林、寿楽、田中、半井 原子力発電環境整備機構: 古崎、高橋 事務局: 立川、朽山、石川、花淵
議事	<p>特別専門委員会での検討に向け、委員会事務局が作成した語彙基盤素案を特別専門委員会委員から構成されるワーキンググループで検討を行った。</p> <p>1. 「語彙基盤」作成の背景 第1回拡張WGで扱った「語彙基盤」作成の背景について、同WGでの議論とその後開催された第2回特別専門委員会の議論を踏まえた改訂版に対して議論を行い、語彙基盤の副題として「地層処分の言葉」を説明の中で活用することを特別専門委員会に推奨することとした。また、説明をさらに分かりやすくする改善点を議論した。</p> <p>2. 語彙基盤「安全評価」に関する検討 語彙基盤「安全評価」について、第1回拡張WGでの議論とその後開催された第2回特別専門委員会の議論を踏まえた改訂版に対して、改善された点を確認した。また、改訂版の記載内容をより分かりやすくするため、および誤解を避けるための更なる改善点を議論した。</p> <p>3. 語彙基盤「セーフティケース」に関する検討 語彙基盤「セーフティケース」について、第1回拡張WGでの議論とその後開催された第2回特別専門委員会の議論を踏まえた改訂版に対して、改善された点を確認した。また、改訂版の記載内容をより分かりやすくするため、および誤解を避けるための更なる改善点を議論した。</p> <p>4. 議論のまとめ 以上の検討を踏まえ、留意すべき点を整理した。これまでの指摘等が概ね反映され、分かりやすくなったが、さらなる改良の余地があり、これらを踏まえ、「語彙基盤」作成の背景/語彙基盤「安全評価」、「セーフティケース」の文案をさらに改良す</p>

	ることとし、特別専門委員会には、状況報告を行うこととした。
備 考	

2023年1月31日

専門委員会開催報告

専門委員会名	「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他 *(第2回「語彙基盤」改良ワーキンググループ) <small>*分科会、WG等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2023年1月16日(月) 15:00~18:00
開催場所	オンライン開催:Web会議(Zoom)
参加人数	14名 佐々木主査、若杉幹事、寿楽委員、廣野委員 外部専門家:浅沼委員、小池委員、永松委員、高橋委員 原子力発電環境整備機構:古崎、高橋 事務局:立川、朽山、石川、花淵
議事	<p>特別専門委員会に設置した第2回「語彙基盤」改良ワーキンググループ(WG)を開催し、昨年度作成した2件の語彙基盤の改良に向けた検討を、外部専門家を交えて行った。</p> <p>1. 「語彙基盤」作成の背景に関する検討 第1回改良WGで扱った「語彙基盤」作成の背景(頭書き)について、同WGでの議論とその後開催された第2回特別専門委員会の議論を踏まえた改訂版に対して、冒頭部の表現について議論し、編集上の改善を要する点を確認した。</p> <p>2. 語彙基盤「閉じ込めと隔離」に関する検討 語彙基盤「閉じ込めと隔離」について、第1回改良WGでの議論とその後開催された第2回特別専門委員会の議論を踏まえた改訂版に対して、改善された点を確認すると共に、記載内容をより分かりやすくするための更なる改善点を議論した。</p> <p>3. 語彙基盤「地質環境」に関する検討 語彙基盤「地質環境」について、第1回改良WGでの議論とその後開催された第2回特別専門委員会の議論を踏まえた改訂版に対して、改善された点を確認すると共に、記載内容をより分かりやすくするための更なる改善点を議論した。</p> <p>4. 議論のまとめ 以上の検討を踏まえ、留意すべき点を整理した。前回の指摘事項が概ね反映され、読みやすさが向上したことが確認された。 一方、表現や言い回しに、改良の余地があり、議論を呼ぶ、例示や表現について、配慮、追記すべき事項等が整理された。これらを踏まえ、「語彙基盤」作成の</p>

	背景/語彙基盤「閉じ込めと隔離」、「地質環境」の文案をさらに改良し、特別専門員会に諮ることとした。
備考	

2023年1月31日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第2回「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*() *分科会, WG等具体的に記入のこと
開催日時	2022年12月27日(火) 9:30~12:45
開催場所	Web会議(Zoom)
参加人数	22名 佐々木主査, 若杉幹事, 小林委員, 小山委員, 寿楽委員, 田中委員, 半井委員, 廣野委員, 松島委員, 安江委員 原子力発電環境整備機構: 高橋, 古崎 オブザーバー: 中山(日本原子力研究開発機構), 坂本, 松岡(バックエンド部会), 北村, 安楽, 雑賀(資源エネルギー庁), 事務局: 立川, 朽山, 石川, 花淵
議事	<p>1. 前回議事録(案)の確認 各委員に事前送付しており, 記載内容については確認済み。事務局より一部, 編集上の修正を行ったことが説明された。</p> <p>2. 「語彙基盤」の実践の場における試行の方策検討 「語彙基盤」の実践の場における試行の方策について, 委員からの提案の説明があり, 議論を行った。第3回特別専門委員会においても, 引き続き検討することとした。</p> <p>3. 「語彙基盤」改良ワーキンググループの検討状況 「語彙基盤」改良ワーキンググループにおける2021年度作成した「語彙基盤」(隔離・閉じ込め, 地質環境)における検討について報告が行われた。 次に, 本ワーキンググループと「語彙基盤」拡張ワーキンググループにおいても検討した『「語彙基盤」作成の背景』の議論に基づく改訂版, 及び本ワーキンググループの議論に基づく「語彙基盤」の改訂版について事務局から説明が行われ, 議論を行った。本特別専門委員会の議論に基づき「語彙基盤」を更に改訂し, 第2回「語彙基盤」改良ワーキンググループで検討することとした。</p> <p>4. 「語彙基盤」拡張ワーキンググループの検討状況 「語彙基盤」拡張ワーキンググループにおける「語彙基盤」(セーフティケース, 安全評価)の初稿の検討について報告が行われた。本ワーキンググループで議論した初稿の説明が事務局から行われ, 議論を行った。本ワーキンググループと特別専門委員会の議論に基づき, 「語彙基盤」の初稿を改訂し, 第2回「語彙基盤」拡張ワーキンググループで検討することとした。</p>

	<p>5. 今後のスケジュール</p> <p>今後のワーキンググループ、幹事会、第3回特別専門委員会のスケジュールについて事務局より提案があり、了承された。</p>
備考	

2023年1月31日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第2回「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会幹事会
会議種別	本会議 <input checked="" type="checkbox"/> 幹事会 <input type="checkbox"/> メール審議 <input type="checkbox"/> その他*() <small>*分科会、WG等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2022年12月22日(木) 10:00～12:00
開催場所	Web会議(Zoom)、
参加人数	8名 佐々木主査、若杉幹事 原子力発電環境整備機構:古崎、高橋 事務局:立川、朽山、石川、花淵
議事	<p>第2回特別専門委員会の開催に向けて、事前調整を行った。</p> <p>1. 第2回特別専門委員会の進め方 第2回特別専門委員会の進め方の確認を行い、ワーキンググループの検討状況については、主査より説明することとした。また、「語彙基盤」作成の背景については、「語彙基盤」改良ワーキンググループと「語彙基盤」拡張ワーキンググループの双方で扱ったが、説明と議論は、「語彙基盤」改良ワーキンググループの議題で採り上げることとした。</p> <p>2. 「語彙基盤」改良ワーキンググループの検討状況 本ワーキンググループの議論を踏まえた「隔離・閉じ込め」と「地質環境」の語彙基盤の改訂版について確認し、第2回特別専門委員会で議論することとした。可能であれば、「隔離・閉じ込め」に隔離と閉じ込めを表す適切な図を追記できないか検討することとした。</p> <p>3. 「語彙基盤」拡張ワーキンググループの検討状況 ワーキンググループの議論を踏まえた改訂版は、検討中のため、安全評価とセーフティケースの語彙基盤は、初稿を用いて特別専門委員会からの意見を伺うこととした。特別専門委員会委員からのコメントは、次回の「語彙基盤」拡張ワーキンググループに向けた改訂に反映することとした。</p> <p>4. 「語彙基盤」の実践の場における試行の方策検討 「語彙基盤」の実践の場における試行に関しては、「語彙基盤」の感想を求めることが実践とはいえないため、より良いフィードバックを求めるべく、実践の場の設計も進めることが挙げられた。</p> <p>5. 今後のスケジュール 今後のスケジュールについて確認した。</p>

備考	
----	--

2023年1月31日

専門委員会開催報告

専門委員会名	「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他 * (第1回「語彙基盤」拡張ワーキンググループ) <small>*分科会、WG等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2022年12月16日(木) 13:30~16:30
開催場所	オンライン開催: Web会議(Zoom)
参加人数	11名 佐々木主査、若杉幹事、小林、寿楽、半井 原子力発電環境整備機構: 古崎、高橋 事務局: 立川、朽山、石川、花淵
議事	<p>特別専門委員会での検討に向け、委員会事務局が作成した語彙基盤素案を特別専門委員会委員から構成されるワーキンググループで検討を行った。</p> <ol style="list-style-type: none">「語彙基盤」作成の背景に関する検討 「語彙基盤」改良ワーキンググループにおける議論の結果も含めて、「語彙基盤」作成の背景の記載内容やより分かりやすくするための改善点について議論した。語彙基盤「安全評価」に関する検討 「安全評価」の記載内容やより分かりやすくするための改善点について議論した。語彙基盤「セーフティケース」に関する検討 「セーフティケース」の記載内容やより分かりやすくするための改善点について議論した。議論のまとめ 委員からのコメントを整理し、次回の特別専門委員会で上記の3件について報告することとした。
備考	

2022年12月23日

専門委員会開催報告

専門委員会名	「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他 * (第1回「語彙基盤」改良ワーキンググループ) <small>*分科会、WG等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2022年12月8日(木) 9:30~12:30
開催場所	オンライン開催: Web 会議 (Zoom)
参加人数	14名 佐々木主査、寿楽委員、田中委員、廣野委員 外部専門家: 浅沼委員、小池委員、高橋委員、永松委員 原子力発電環境整備機構: 古崎、高橋 事務局: 立川、朽山、石川、花淵
議事	<p>特別専門委員会に設置した第1回「語彙基盤」改良ワーキンググループ(WG)を開催し、昨年度作成した2件の語彙基盤の改良に向けた検討を、外部専門家を交えて行った。</p> <p>1. 背景説明 事務局より、外部専門家に対して、特別専門委員会の背景、2021年度の議論について背景説明が行われた。</p> <p>2. 頭書き/語彙基盤「隔離・閉じ込め」「地質環境」へのコメント【外部専門家からの意見】 「語彙基盤」の頭書き、「隔離・閉じ込め」、「地質環境」について外部専門家より意見を伺い、改良に向けた論点を整理した。</p> <p>3. 頭書き/語彙基盤「隔離・閉じ込め」「地質環境」へのコメント【特別専門委員会委員からの意見】 議題2と同様に、特別専門委員会委員が改良に向けた論点を提示し、検討を行った。</p> <p>4. 議論のまとめ 以上の検討を踏まえ、頭書きで留意すべき点を整理した。また、語彙基盤「隔離・閉じ込め」および「地質環境」については、誤解を生む曖昧な語句の扱い、表現や言い回し、疑念を持つことにつながる(断定や特定の)表現への配慮、追記すべき事項等が整理された。これらを踏まえ、頭書き/語彙基盤「隔離・閉じ込め」、「地質環境」の文案を改良することとした。</p> <p>5. 事務連絡 来月の第2回「語彙基盤」改良 WG で改訂案を議論すべく、後日、日程調整することとした。</p>
備考	

2022 年 11 月 29 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 1 回「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会幹事会
会議種別	本会議 <input checked="" type="checkbox"/> 幹事会 <input type="checkbox"/> メール審議 <input type="checkbox"/> その他*() <small>*分科会、WG 等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2022 年 11 月 18 日(金) 15:30～17:00
開催場所	Web 会議(Zoom)、
参加人数	7 名 佐々木主査、若杉幹事 原子力発電環境整備機構:古崎 事務局:立川、朽山、石川、花淵
議事	<p>1. 第 1 回特別専門委員会の結論の確認 第 1 回特別専門委員会の開催報告案の内容確認を行った。</p> <p>2. 今後のワーキンググループの開催 2021 年度に作成した「語彙基盤」の改良と、2022 年度の「語彙基盤」の拡張のワーキンググループの開催にあたっては、主査と幹事を可能な限り交えることとし、更にジェンダーの視点も踏まえてメンバーを拡充することを検討した。</p> <p>3. 「語彙基盤」の実践の場における試行 地層処分に馴染みの薄い専門家や学生の集う学会大会・シンポジウム等について委員からの提案を募ることに関して、提案に際して必要となる情報と提案提出の期限を検討した。</p> <p>5. 第 2 回幹事会のスケジュール 第 2 回特別専門委員会と今後開催するワーキンググループの開催を考慮して、第 2 回幹事会の開催日を 12 月 22 日の午前に実施することとした。</p>
備考	

2022年11月21日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第1回「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*() <small>*分科会、WG等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2022年11月17日(木) 9:30~12:30
開催場所	ハイブリッド開催:Web会議(Zoom)、(公財)原子力安全研究協会 新橋パークサイドビル4階大会議室
参加人数	19名 佐々木主査、若杉幹事、小林委員、小山委員、寿楽委員、田中委員、半井委員、廣野委員、松島委員 原子力発電環境整備機構:高橋、古崎 オブザーバー:坂本、松岡(バックエンド部会)、北村、雑賀(資源エネルギー庁)、中山(JAEA) 事務局:立川、朽山、花淵
議事	<p>1. 開会挨拶 佐々木主査より開会挨拶が行われた。</p> <p>2. 本年度の実施計画 事務局より本年度の実施計画について説明を行い、委員から了承された。</p> <p>3. 2021年度に作成した「語彙基盤」の改良—昨年度の語彙基盤「隔離・閉じ込め」、「地質環境」について— 事務局より2021年度に作成した「語彙基盤」の改良について説明を行い、2件の語彙基盤の改良に向け、特別専門委員会の一部と地層処分に馴染みの薄い外部の専門家を交えたワーキンググループの設置について検討した。</p> <p>4. 「語彙基盤」の拡張 佐々木主査より語彙単体の説明だけではなく、併せて関連する他の語彙への正しい理解を通じて地層処分の概念的理解を促すことを目指すとして、「隔離・閉じ込め」と「地質環境」に「セーフティケース」と「安全評価」を加えた、4件の語彙の関連を説明した。これに基づき、「語彙基盤」の拡張として、「セーフティケース」と「安全評価」を本年度採り上げることが提案され、議論の結果、両語彙を取り扱うことが了承された。引き続き、新規の両語彙を議論するワーキンググループの設置について検討した。</p> <p>5. 「語彙基盤」の実践の場における試行 佐々木主査より、実践の場について説明を行い、事務局からも補足説明を行っ</p>

	<p>た。地層処分に馴染みの薄い専門家や学生の集う学会大会・シンポジウム等について委員からの提案を募ることとした。事務局から第2回特別専門委員会で実施体制、発表内容等を検討することが補足された。</p> <p>6. 事務連絡 事務局より、次回以降の特別専門委員会等のスケジュールの確認があった。</p>
備 考	